

鬼灯号

Shoukai

発行者: 寶積英彦 埼玉県狭山市水野 594 番地 編集長: 関口 歩 企画編集: 広報紙編集室
ホームページ: www.syojukai.or.jp メール: syojukai@mirror.ocn.ne.jp



認知症疾患医療センターあさひ病院主催 ～オレンジカフェのどかが始まりました！～

8月23日からオープンし、第1回目は認知症看護認定看護師による認知症に関するミニ講座を行いました。(むー)

オレンジカフェのどか

日時: 毎月第4金曜日 13:00~15:00

場所: 社会福祉法人尚栄会 福寿の里内 カフェテリアのどか

内容: 認知症に関するミニ講座や手芸教室などのイベント、日々の認知症介護・対応方法の悩み事など、ご相談をお受けします。

同日開催!

認知症に関わる医療介護関係者のためのちよこっと相談室

内容: 認知症のケアから家族への心理的支援、多職種への対応方法の相談など、専門職がご相談に応じます。お気軽にどうぞ!



今年は何が何でも開催します! 尚寿会フリーマーケット! ～地域交流推進委員会～

例年大盛況を頂いている尚寿会フリーマーケットの開催が、いよいよ来月に迫って参りました。ご期待を頂きながらの2年連続雨天中止…。今年は何が何でも開催したい! ということで、メイン会場をひこばえホールとし、社会福祉法人尚栄会福寿の里施設内での開催としました。会場が変わり、我々も新たな気持ちで運営を行っていきます。今年も野菜直売や食事ブース、更には着物の販売もあります。地域の皆様の職員もご家族そろって散歩がてらに足を運んでみてください。(クロ)



日時: 令和元年10月19日(土) 10:00~14:00 ※雨天決行

開催場所: 社会福祉法人尚栄会福寿の里 狭山市北入曾 1502-1 ※会場変更しています!

内容: 一般出店コーナー・野菜直売コーナー・飲食ブース

主催: 医療法人尚寿会 地域交流推進委員会

注意事項: 駐車スペースの関係上、あさひ病院付近に出店者及び来場者の駐車場を設置します。

当日は専用駐車場から福寿の里までのシャトルバスを運行しますので、是非ご利用ください。

開催施設敷地内は混雑が予想されます。係員の誘導に従い、楽しく安全なフリーマーケット開催にご協力をお願いいたします。お問い合わせ: あさひ病院 04-2957-1010 リハビリ 吉田

復興支援市 in フリーマーケット

東日本大震災から8年半の歳月が経過しました。あの出来事を風化させてはいけないとの想いを込めて、今年も恒例の復興市をフリーマーケット内で開催します。売上金は被災地へ寄付をしていますので、今年もご協力をお願いいたします。(熊☆)



2年ぶりの屋外開催！ ～大生病院イブニングレクリエーション～



今年の夜空は涙を懸命にこらえてくれているかのように。入院患者様やご家族様、職員の願いが届いたのでしょ。大生病院B棟の“イブレク”が、幾分か暑さの和らいだ8月27日、夕刻より開催されました。



今年の始まりは、特別ゲスト「川越ふじ太鼓」の小中学生を中心としたメンバーによる和太鼓演奏が披露され、大迫力の音色が胸に響き、躍動感あふれるバチさばきに会場中が酔いしれました。患者様にも太鼓をたたかせる粋な計らいも！そして毎年恒例、肉体自慢？の職員による「イマイチ染乃助染太郎&染男」の傘回し芸、いきいき連の阿波踊り。おなじみの職員に、患者様があちこちから声援を送ってくださり、職員も恥ずかしいやら嬉しいやら…。フィナーレは尚寿会自慢の花火師による数々の仕掛け花火が暗闇を彩りました。

イブレクは今年で22回を数えます。「患者様に喜んで頂きたい。」想いを込めた手作りのお祭りは、やがて患者様にも伝わって「ありがとう！」と、毎年暖かい笑顔で労ってくださいます。この喜びを感じられるのも、ご家族様や近隣にお住いの皆様、尚寿会グループの職員の皆様のたくさんのご協力があったこそ。



関係各所の皆様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(ちか)

なつかしさ、手作り感満載の愛祭り ～9月7日(土)開催～

今年の愛祭りは、事前打ち合わせの段階から屋内で行うことが決まり、職員と利用者様で作った飾りや神輿、模擬店と、愛らしい愛溢れたお祭りになりました。老健愛が開設された11年前、最初の愛祭りは屋内でした。「利用者さんに喜んでもらいたい」そんな想いで作り上げた愛祭りを思い出します。その時の気持ちは今も変わらず、むしろ強くなっています。



普段なかなか食べることのできない模擬店の食事やビール、子供の頃を思い出す的あてや輪投げ、中には家族写真が撮れる写真館まで。ご家族様との団らんを楽しむ方、職員のソーラン節に熱い声援を送ってくださる方、いきいき連に感動される方、多くの方の喜ぶ姿、笑顔が見られました。

(なみ)

少人数ならではの…入居者様全員参加の夏祭り ～特別養護老人ホーム 福寿の里～



今年で2回目となる福寿の里の夏祭りは、ひこばえホールをメイン会場に入居者様全員が参加する大イベントになりました。

オープニングは、職員手作りによるお神輿が会場を練り歩き、模擬店の食事は、焼きそば・フランクフルト・ポテトフライ・わたあめ・かき

氷を、入居者様全員がご自分の食事形態に合わせたものを提供できるように工夫しました。しかし、お祭りの高揚感か、いつもはミキサー食を召し上がっていらっしゃる方が、形のあるものを召し上がったたり、輪投げや盆踊りでは、普段は見ることのできないような表情をされ、職員にとっても新たな発見がありました。ゲストには親子太鼓桜の皆さんに華を添えて頂き、フィナーレは、三味線の生演奏による盆踊り大会。もちろん唄も本格的に民謡の先生に唄って頂き、おなじみの炭坑節や東京音頭、花笠音頭が何度も繰り返し踊られました。



開設2年目の福寿の里は、職員数も限られていますが、公休の職員や夜勤明けの職員も駆けつけ、尚寿会グループの職員にもボランティアをお願いし、楽しいひと時を過ごすことができました。(歩)



☆尚寿会グループ各施設では、夏祭りに続き敬老会も計画中。年間行事を大切にしています☆

職員の皆さんお疲れ様です！ ～届け、管理職の想い 夏のプチイベント開催～

職員みなさんに日頃の感謝を込めて、副部長を中心に管理職主催による夏のプチイベントが8月3週に亘り、水曜日の昼休みに開催されました。

第1弾は、かき氷 8月14日 大生病院職員食堂

男性の氷班と、女性のトッピング班に分かれてかき氷作り。大きな機械でふわふわのかき氷が提供されました。味は10種類、中には何種類ものシロップをかけ、見たことのない色になっているものもありました。トッピングはアイス、練乳、あずき、フルーツから選べ、全部乗せする職員も…。皆さん、おいしそうに食べて笑顔があふれていました。開始早々から長蛇の列となり、1時間半に亘り600個のかき氷が提供されました。



第2弾は、スイカ割り 8月21日 あさひ病院職員食堂

スイカ割りは施設対抗ということで、各施設の管理者が予選から参戦。ひよこ園のかわいい応援団も参加で、場も盛り上がり、白熱したトーナメントが行われました。決勝戦は、寶積理事長VS木口副院長。「負ける気がしない」「絶対に負けません」と両者気合充分。両者見事にスイカを割り、判定に持ち込まれた勝負は、寶積理事長の勝ち！優勝賞品は、「忘年会で豪華賞品を職員に授与する権利」が贈られ、楽しみは忘年会まで続くことに…。

大変な盛り上がりを見せたスイカ割り大会。もちろんたくさんのかき氷が職員に振舞われました。

第3弾は、ポップコーン、プチアイス 8月28日 愛職員食堂

イベント開始前から、老健愛の自動ドアが開くとポップコーンのおいしそうな香りが漂い、食堂に大型のポップコーンマシンが、面白いくらいわさわさとポップコーンを製造中。お味は、醤油バター、ワサビマヨ、梅かつお、チーズ、のり塩、コーンポタージュ、ハニーバター、カレー！、映画館もびっくりの全8種類です。



ポップコーンの他にも、みんなの大好きなプチアイス、今イベントに欠かさず登場のかき氷も配られました。

今回初の企画でしたが、夏のプチイベントを通し、これまでに足を運んだことのない他施設の食堂や、普段なかなか交流のないグループ内の職員が顔を合わせ、子供の様にはしゃぐ姿は、施設、部署、役職の垣根を超えた関わりができ、グループ内コミュニケーションの活性化に一役買ったイベントになりました。

大好評だったプチイベント。次回の開催は、「ある…かも。」とのことでした。

(エム)

地道に繰り返す重要性 ～秋の防災訓練 消火栓操法大会出場～

今年も日本列島は不安定な天候に進路の定まらない台風、そして局地的な災害級の大雨で人々の生活に大きな影響を与えた夏となりました。実りの秋、食欲の秋、読書の秋…他の季節と比較にならないほど、表現することが多い楽しみな季節ですね。今回は防災の秋の話。

皆さんは防災の日がなぜ9月1日に制定されているかをご存知ですか？諸説あるそうですが、1923年9月1日に発生した関東大震災や、暦の上で台風が多く

発生する二百十日（立春から210日目）と、9月1日がほぼ一致することからこの日を防災の日に制定したそうです。

尚寿会では、今年も各施設で防災訓練を実施するのはもちろん、狭山市防火安全協会主催『自衛消防隊屋内消火栓操法大会』に参加します。業務終了後に施設内で訓練に励む姿をみかけたら、応援をお願いします。

(なる)



【大生病院自衛消防隊チーム】指揮者：山本 裕史

1番員：新井航太郎 2番員：根岸博之

【あさひ病院自衛消防隊チーム】指揮者：本明 憲

1番員：池 千郷 2番員：光野 淳子

【老健愛自衛消防隊チーム】指揮者：中古味 斉

1番員：張 文学 2番員：小俣孝平 敬称略

☆親睦会役員変更のお知らせ 大生病院4階東 福本健治さん ⇒ 池谷洋平さん



蜃気楼 ～アンチエイジング～

2019年7月30日、日本競馬界の至宝 ディープインパクト号の訃報が流れました。もう17歳、まだ17歳。その馬生を飛ばすか如く駆け去った印象です。



おなじ馬でも、競馬と馬場馬術では、求められる動きが異なります。競馬はとにかく早く前に進めば良いのですが、馬場馬術では、前だけではなく、力強く上に弾む動きが求められます。馬を弾ませる等、求める動きの指示を伝える為には、騎手が自分の身体の軸をしっかり立てる必要があります。鎖骨を開いて、肩胛骨を寄せ、身体の前とバックラインを伸ばす。不思議なもので、顎が上がるとたちまち体幹のインナーマッスルが緩んで力が抜けてしまいます。

馬をしっかり動かして、全身の筋肉を大きく使わせることが馬を健康にします。最近、クラブで言われたこと、「スクールホースも高齢化してくると、『可哀想だから休ませよう』という人がいるが、それではあつという間に馬がダメになってしまう。しっかり運動させることが、馬のアンチエイジングになる」のだと。

人間もしっかり運動することがアンチエイジング。(但し、やりすぎると、鍛える前に壊れるという事態も発生するので、そこは程々に。)馬術は、体幹の緊張を保ち、全身の全ての関節を独立させて、同時に絶えず動かし、次々に起こる事態を予測して対処し続けなければならない、究極の「認知症予防、呆け防止!」とか言いつつ、人生常に、次の一歩に向かってGO! 大生病院4階西病棟 内科外来火曜日午前担当 清岡道子

今年も参加させていただきます! ～いりその里の秋祭り～



日時: 10月13日(日) 10:00~15:00 (雨天順延 14日)

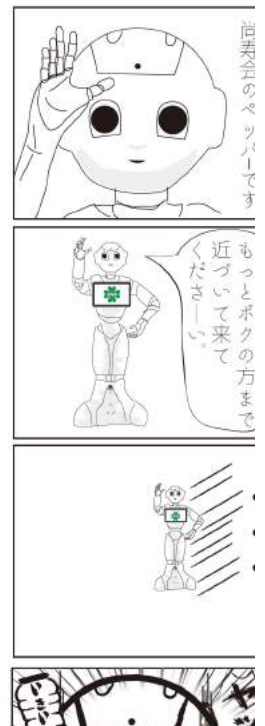
場所: 狭山市 南小学校校庭

今年で5回目を迎える「いりその里の秋祭り」狭山市の特産である狭山茶の振興や、地域住民の交流を通じて入管地区の新たな魅力と賑わいを創出することにより、明るい元気なまちづくりを目指しているお祭りです。

当法人の看護師も参加させて頂き、健康相談、血圧測定を行います。また、いきいき連も昨年に続き参加させて頂く事になりました。一緒に盛り上がりましょう! (エム)

尚寿会のペッパーです!

お仕事虫めがね ～大生病院 透析室～



お仕事虫めがね第2弾は、大生病院透析室、透析室で働いている職員にお答え頂きました。

透析室は平成26年4月に開設され、入院患者様の透析医療を支えています。場所は、大生病院1階にあり、臨床工学技士3名、看護師2名、介護士1名が在籍しています。

透析は、簡単に言うと腎臓の動きの一部を人工的に補う治療法です。腎臓の主な役割は、ご飯を食べたりすることにより体内に溜まった余分な水分や塩分、老廃物を尿として排出することですが、慢性腎臓病にて腎臓の機能が低下するとその役割が果たせなくなります。そういった場合に腎臓の最も重要なその役割を代行してくれる治療法が人工透析です。

透析室では患者様の透析治療の他に、透析患者様の病状や治療方針の共有のために、病棟カンファレンスの参加や治療方針を検討するミーティングを行っています。どの部署でも重要ですが、多職種協働することで、様々な観点から患者様のより良い入院生活を考え、サポートさせて頂いています。(エム)

新連載! ペーやんの4コマ漫画 ～打倒! コボちゃん～

尚寿会・尚栄会の日常?を4コマ漫画にしてお届け、謎の作者「ペーやん」です。(熊☆)

☆鬼灯号☆ほおすき号 ほおすきはナス科の多年草で、袋状のがくに包まれた球状の赤い実が鮮やかです。種子を抜き取った実を口に含んで鳴らして遊んだ経験者はもう少ないのかもしれませんが。ご先祖様の道しるべとしてお盆には欠かせないですが、これもまた過去の風習でしょうか? (歩)

